新基地反対 根強く

沖縄選挙区 勝因・敗因

2021 衆院選

第49回衆院選の沖縄選挙区は「オール沖縄」勢力と自民が2人ずつ当選を確実にした。オール沖縄が誕生して以降、自民が選挙区の当選者数で並ぶのは初めて。新型コロナウイルスが全国的に猛威を振るった中で迎えた初の国政選挙は感染対策や経済の立て直しが重要視され、辺野古埋め立ての是非は最大争点化されなかった。4選挙区の勝因と敗因を分析した。

（1面参照）

1区

赤嶺氏 党派超え浸透
国場・下地氏 票奪い合う

テレビの当選確実の報道に喜ぶ赤嶺政賢氏（中央）ら＝31日午後8時、那覇市泉崎の選挙事務所

共産前職の赤嶺政賢氏(73)＝れいわ推薦＝が三つどもえの短期決戦に勝利し、県都・那覇を含む1区の議席を守った。9年間にわたった安倍・菅政権の「強権政治」に対する批判を追い風に、無党派を含む幅広い層から支持を得た。

立民や共産、社民、れいわは9月、名護市辺野古の新基地建設中止を含む共通政策を締結。全国の小選挙区で候補者を一本化するなど野党共闘を加速させた。

赤嶺氏や陣営は、その源流が「オール沖縄」勢力だとの訴えを前面に出し、辺野古中止のほか、新型コロナ対策強化や気候危機、ジェンダー平等など国政に関わる各政策も主張。「政権交代」の争点化を図って革新票を固め、自公政権批判票の受け皿になった。

2017年の前回衆院選以降、金秀グループなどオール沖縄における経済界の柱が抜けたものの、県議や那覇市議らを中心とする超党派の選挙態勢を構築。玉城デニー知事や城間幹子那覇市長も積極的に街宣に入り、支持層をまとめた。

ツイッターやLINEなどのSNSも積極的に活用。政策の訴えや期日前投票の呼び掛けを徹底したことも奏功した。

一方、自民前職の国場幸之助氏(48)公明推薦＝と無所属前職の下地幹郎氏(60)は保守一本化の合意形成を図れず、票を奪い合う結果となった。

コロナ対策や沖縄振興推進を訴える国場氏は、岸田文雄首相の派閥議員としての政権与党の強みをアピールしたが、支持が広がらなかった。自民県連会長時の18年には飲酒トラブルもあり、不祥事への批判を払拭できなかった。

下地氏は政治活動25年の実績や教育無償化を訴えたが、保守分裂に加え、無所属になり後ろ盾を欠き、支持母体である建設業関係の票も固められなかった。

（衆院選取材班・新垣卓也、川野百合子、山城響）

■小選挙区 市町村別得票数

区	候補者 / 市町村	赤嶺政賢（共産）	国場幸之助（自民）	下地幹郎（無所属）	有効投票数	無効投票数	投票総数	開票率(%)
1区	那覇市	59,982	52,028	27,867	139,877	0	139,877	97.37
	渡嘉敷村	103	230	91	424	14	438	100.00
	座間味村	167	283	110	560	16	576	100.00
	粟国村	137	60	154	351	8	359	100.00
	渡名喜村	55	120	13	188	4	192	100.00
	南大東村	131	443	83	657	7	664	100.00
	北大東村	46	245	51	342	2	344	100.00
	久米島町	967	1,043	1,449	3,459	65	3,524	100.00
	計	61,588	54,452	29,818	145,858	116	145,974	97.48

（午前1時30分現在）

自民、県政奪還へ勢い

県内政局解説

31日投開票の衆院選は、「オール沖縄」勢力が前回2017年選挙から1議席を減らし、自民と2議席で並んだ。オール沖縄勢力が、代名詞である「辺野古新基地建設反対」を前面に出さず衆院選を戦った背景には、コロナ禍で感染対策や経済の立て直しを優先する必要があったほか、玉城デニー県政に埋め立てを阻止する切り札が見当たらず、明確な争点をつくりだせなかった側面もある。

オール沖縄としては、来年1月以降の名護市長選や参院選、県内政局の天王山となる県知事選に向け戦略の見直しが急務だ。一方の自民は1議席を増やし、来年の県知事選での県政奪還に向けて勢いを得た形だ。

オール沖縄は14年以降、補選も含めた3回の衆院選で自民に8勝1敗と大きく引き離していた。今衆院選が従来と大きく異なるのは、17年の前回衆院選後、政府が護岸で囲った埋め立て区域へ土砂投入を開始し、埋め立てが進んでいること。名護市辺野古の新基地建設で埋め立て海域のサンゴの保全を巡る最高裁で、7月に県が敗訴。埋め立てを止める打開策が見いだせずに選挙を迎えた。

オール沖縄は、民意を顧みずに工事を強硬に進める政府に対し、辺野古反対の明確な意思を示すことで県民の支持を得てきた。辺野古問題を明確に争点化しない限り組織の存在意義がぼやけかねない。

一方、自民が来年の県知事選で県政を奪還するには、辺野古が最大争点となる公算が大きい来年1月23日の名護市長選での勝利が必須だ。選挙で協力関係にある公明党県本部は県外・国外移設を堅持する一方、衆院選を前に普天間飛行場の危険性除去優先にかじを切っており、自民には今後も追い風になる。知事選に向け、自民県連の候補者選考が今後、加速しそうだ。

（衆院選取材班・山城響）

初の2敗 知事痛手
国と対話 問われる手腕

県政解説

衆院沖縄選挙区で自民候補の2人が当選し、県内選挙区議席を「オール沖縄」勢力と分け合う結果となった。オール沖縄は、勢力が誕生した2014年の衆院選以降2敗するのは初めて。玉城デニー知事の県政運営に痛手となりそうだ。14、17年選挙と異なり、名護市辺野古の新基地建設の是非が最大争点にはならなかった。新型コロナウイルス対策や次期沖縄振興計画など争点が分散化した。

だが、辺野古を抱える3区で「容認」の立場を取る島尻安伊子氏が勝利したことは、これまでの「辺野古反対」の民意が一定変質したとも言える。

辺野古問題に特化して是非が問われたわけではないが、政府は「容認の民意」と位置付けるとみられる。知事は近く、沖縄防衛局が提出している埋め立て変更申請を不承認とする意向だが、結果を追い風にはできず、かじ取りは難しい。

知事は、岸田文雄首相らと面会し新基地建設反対を訴え、政府に「対話」を求める方針だ。だが首相は安倍晋三、菅義偉両政権を継承し基地建設を進める構えで、対話が平行線となるのは必至。選挙で示された民意をどう評価し、施策や県政運営に反映させるか。知事の手腕が問われる。

一方、自民は1議席増やしたものの2勝にとどまった。辺野古問題や基地と振興策をリンクさせるなど沖縄に強権的に向き合ってきた9年間の安倍、菅両政権への県民の審判で信任を得たとは言えない。

年末には22年度沖縄関係予算が決定する。年明けには22年度以降の改正沖縄振興特別措置法の立法、そして来年は日本復帰50年の節目という沖縄にとって重要な局面を迎える。

コロナ禍からの経済回復や沖縄の自立経済の構築には府与との連携も重要だ。当選した西銘恒三郎沖縄担当相ら自民国会議員との連携は必須で、基地問題での「協力」をどう成立させるか。「対立」と、振興での「協力」量が試される。

（衆院選取材班・大野亨恭）

「3区奪還大きい」
政府関係者

【東京】31日投開票の衆院選では、自民党が名護市辺野古を抱える沖縄3区で議席を奪還した。今回の衆院選で辺野古は大きな争点にはならなかったものの、県内4選挙区中、2選挙区で自民が勝利し、来年に控える知事選を前に弾みをつけた。次期沖縄振興計画にも影響を与えそうだ。

新基地反対を掲げた2候補は小選挙区で敗れた。政府関係者は「玉城デニー知事の地盤である3区を取ったのは大きい。来年の知事選に与える影響は間違いない」と述べ、知事の求心力低下を指摘した。

別の政府関係者は、来年4月以降の新たな沖縄振興特別措置法に基づく振興策や沖縄関係予算について「知事と政府のパイプは事実上ない」と指摘。その上で「自民議員が選挙区から勝ち上がったことで、地元の声は通りやすくなる。予算獲得や税制に関して好影響が出るだろう」と話す。

新垣氏 地盤継承が力
宮崎氏 無党派支持欠く

当確を伝えるテレビ速報を見て沸き立つ新垣邦男氏（中央）と支持者＝31日午後11時20分、宜野湾市長田の選挙事務所

2区

社民新人の新垣邦男氏(65)は、前職で照屋寛徳氏の「後継候補」を前面に出し、選挙区内に連なる米軍普天間飛行場と嘉手納基地の基地負担軽減や辺野古新基地建設反対などを訴えて支持を固めた。事実上の一騎打ちとなった自民前職の宮崎政久氏(56)＝公明推薦＝を破り、初当選した。

昨年9月に照屋氏から後継指名を受け、新垣氏は今年1月から活動を本格化。相手候補を圧倒する支持を集めていた照屋氏の地盤継承に成功した。北中城村長在任中の実績などを強調した朝夕のつじ立ちは、公示までに千カ所を超えた。

公示後は、米軍基地問題や那覇軍港の県内移設反対と先行返還などを訴えた。新型コロナで落ち込んだ経済対策の一つに3年間の消費税ゼロも打ち出した。大票田の「つ浦添市を重点的に回り、保守層も切り崩した。伝統空手の有段者をPR し、人柄も発信した。

宮崎氏は「コロナから命と暮らしを守る」と新型コロナ対策を最大争点に位置付け、野党新人候補に対して衆院3期の経験をベースに、無党派からの得票で票の上積みを試みたが、支持の広がりを欠いた。

陣営は大票田・浦添市に選対本部を構え、浦添・宜野湾の保守系首長を選対本部長に据えるなど両地域での保守・無党派層の浸透を狙ったが支持がなかなかった。前回選挙では相手陣営だった浦添市区選出県議の赤嶺昇議長が宮崎氏の援軍に回ったが、影響は限定的だった。（衆院選取材班・砂川孫優、又吉俊充）

■小選挙区 市町村別得票数

区	候補者 / 市町村	宮崎政久（自民）	中村幸也（N党）	新垣邦男（社民）	山川泰博（維新）	有効投票数	無効投票数	投票総数	開票率(%)
2区	宜野湾市	18,214	651	18,319	3,883	41,067	949	42,016	100.00
	浦添市	22,063	1,115	20,199	5,869	49,246	1,331	50,577	100.00
	読谷村	6,222	381	8,954	1,409	16,966	479	17,445	100.00
	嘉手納町	2,741	86	2,489	440	5,756	162	5,918	100.00
	北谷町	4,230	225	6,003	933	11,391	287	11,678	100.00
	北中城村	1,895	122	5,323	447	7,787	174	7,961	100.00
	中城村	3,230	174	5,126	789	9,319	286	9,605	100.00
	西原町	5,947	299	8,252	1,526	16,024	399	16,423	100.00
	計	64,542	3,053	74,665	15,296	157,556	4,067	161,623	100.00

時事漫評

玉城デニー知事

知事、電話で当選祝意
選対事務所に姿見せず

玉城デニー知事は31日、衆院沖縄1区で当選を確実にした共産前職の赤嶺政賢氏(73)＝れいわ推薦＝に電話で祝意を伝えた。赤嶺氏によると知事から「おめでとう。また頑張りましょう」と激励されたという。

知事は選挙の開票状況を知事公舎で見守った。選挙事務所は訪問せず、この日は報道陣の前に姿を見せなかった。知事は選挙で、「オール沖縄」勢力が推す1～4区の候補者を支援した。だが、選挙区では3、4区で落選が決まった。

きょうの天気

	6時	9	12	15	18	21	24		紫外線	あす
北部	26	20	30%				1.5→2 北東11		強い	26 20 10%
中南部	27	21	20%				1.5→2 北東11		強い	26 21 10%
久米島	27	20	10%				1.5 北東11		強い	26 21 10%
大東島	28	19	0%				1.5 北6		強い	27 19 10%
宮古島	27	23	20%				2 北東10		強い	26 22 10%
石垣島	28	23	20%				2 北東10		強い	27 22 10%
与那国島	27	23	30%				2 北東10		やや強い	26 22 10%

予想気温　最高　最低
降水確率 %
波高(m)　風向　海上最大風速
のち
時々

きょうの黄砂

6～12時	少ない
12～18時	少ない
18～24時	少ない

きょうのPM2.5

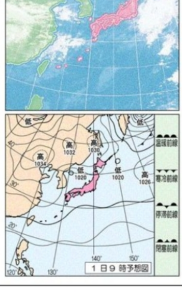
6～12時	やや多い
12～18時	やや多い
18～24時	やや多い
あす	やや多い

きのうの暫定値 0～17時
注意喚起レベル 70パタ

名護	12.5
沖縄市	10.8
那覇	11.3
宮古島	10.6
石垣	10.4

※情報提供元は「SPRINTARS 開発チーム」、県環境部

31日23時撮影



きょうの暦

日出入	06:38 / 17:47
月出入	02:34 / 15:34
月齢	25.7
満潮	04:08 / 16:55
干潮	10:28 / 23:05
那覇港	中潮

沖縄地方は、おおむね晴れ。本島地方は、雨の降る時間帯もある見込み。与那国島地方は曇る。沖縄地方の沿岸海域では、うねりを伴い波がやや高い。

（31日16時32分発表）

全国きょう

札幌	10%	仙台	30%
新潟	20%	東京	40%
名古屋	0%	大阪	10%
広島	0%	高松	0%
福岡	0%	鹿児島	10%

	あすの風向	風速	波高
名護	北東	10	2
那覇	北東	10	2
久米島	北東	10	2
大東島	北	8	1.5→2
宮古島	北東	9	2
石垣島	北東	9	2
与那国	北東	10	2

週間予報・降水確率（那覇）

3(水)	4(木)	5(金)	6(土)	7(日)
10%	20%	40%	50%	50%